

米国大学のESL教育を沖縄で！

沖縄県南城市教育委員会教育指導課

急速にグローバル化が進む現代社会において、世界的に活躍する人材の育成が急務となっています。南城市では北中城村・中城村・伊平屋村・大宜味村・東村と協力して沖縄県内海外短期留学実行委員会を結成し、語学力と国際感覚を身に付けた人材育成を目的に「夏休み中学生・高校生短期米国留学」や「ESL(注)キャンププログラム」の語学教育事業に取り組んでいます。ここでは、今年4回目となりました「ESL キャンププログラム」についてご紹介いたします。

(注) ESL:「English as a Second Language」(第2言語としての英語)

1 「ESL キャンププログラム」とは

本事業は夏休みの8泊9日間(8月7日～15日)を利用して、アメリカの有名大学(今年度はワシントン州立大学)からESL教育の専門の講師を招聘し、県内6市村の小中学生に本場の英語教育を教授することで、英語への興味関心を高めコミュニケーション能力の育成を図ることを目的として実施しています。

例年、本事業への応募者が多く、今年度は昨年度より定員を増やし、小学生27名・中学生20名の総勢47名が参加しました。スタッフはアメリカの大学より講師3名と小中学校に派遣されているALT3名(うち2名はJET参加者)、それに本事業を企画・運営してくれるNPO法人琉米歴史研究会の日本人職員3名です。特に3名のALT(外国語指導助手)の役割は重要で講師の補助に加え、児童生徒の授業中の支援、野外や体育館でのアクティビティーの計画や実施、宿泊生活での生活指導、それにカウンセラーとしても1日中フル稼働しています。また、教育委員会への報告も彼らの



大切な任務の一つです。

さて、ESLキャンプの内容について紹介します。

1日目は午前11時より参加者全員が参加して「開講式」を行いました。そこでは先生方、スタッフの紹介のほか、日程や集団生活での規則等について確認をします。授業は13時から、小学生・中学生の2クラスに分れて行われます。初めほどの児童生徒も初対面の先生やクラスメイトに困惑気味で、ほとんど笑顔が見られませんでした。

2日目は午前9時から12時までの授業と午後は14時から17時までのアクティビティーです。このスケジュールで基本的に流れていきます。朝の涼しいうちに授業を行い、午後は先生方とレクリエーション活動を行いながら、信頼関係を深めていきます。もちろん、キャンプ中のコミュニケーションは英語で行います。そうすることが、児童生徒の英語力を日々スキルアップさせることにつながります。

キャンプ5日目の土曜日午前中に保護者向けの授業参観がありました。初日、緊張して何も言えなかった児童生徒が積極的にジェスチャーを交えて、講師の先生やALTと英語でコミュニケーションを図っている姿には保護者だけでなく教育委員会関係者も驚かされました。彼らの無限の能力と講師の英語教授法、それにALTの献身的な関わりがそうさせたと感謝の気持ちで一杯でした。授業見学を終えて行われた保護者会でも異口同音、子どもの成長に驚いた様子でした。

2 沖縄の観光地ガイドを英語で聞く

キャンプ6日目になり、子ども達が楽しみにしている「北部観光バスツアー」を行いました。沖縄県の北部は人間の手つかずの自然が豊富で地元の人たちは、この緑豊かな地域を畏敬の念をもって「やんばる」と呼んでいます。普段、目にしている光景ですがバスの中での案内は全て英語で話されていますので、ちょっと変わった異文化体験です。そして、子ども達が大好きな「美ら海水族館」「琉球村」では、逆に英語で質問をしたりして英会話を楽しんでいました。この行事で児童生徒は、自分たちの住んでいる地域のことを英語で説明をうけましたが、かなりの部分を聞き取れたそうです。英語を理解するには、英語以上にたくさん知識（情報）を習得することが大切だということ、そして、地域のことをどのように表現したらよいかを学ぶ絶好の機会となりました。

3 感動の閉講式

いよいよ、キャンプ最後の行事「閉講式」です。式は児童生徒および保護者、講師の先生、ALT、NPO職員、それに教育委員会関係者等の出席で行われました。

式の中で「修了証」が講師の先生方から、35児童生徒一人一人に手渡され、どの子も最後までやり遂げられた思いで、誇らしげに受け取っていました。

最後に講師の先生方のスピーチになると何人かの生徒が泣き出してしまい、スピーチをしている先生も泣いてしまうハプニングもありました。子ども達にとっても先生方にとってもベストを尽くした8泊9日間、言葉や人種が違って相手も思いやる気持ちは同じだということをこのキャンプとおしてわかり合えたと思います。

4 むすびに

「沖縄の子に本場の英語教育を受けさせ、世界で活躍する人材を育成したい。」古謝南城市長の思いで始まった本事業の成果は市内外に広がりつつあります。

今では、「ESL キャンプ」に参加した多くの受講者が世界的な視点を持ち視野を広げ、人間とし

ても急成長をとげ、学校や大学でリーダーとして活動しています。やがて、参加者から世界的に活躍してくれる人材が出てくることを信じ、本事業を継続・発展させていきたいと思えます。

「ESLで学んだ事・楽しかった事」

南城市立佐敷小学校 5年 花城 咲彩

8月8日の初日から早速授業があり、クラスのルールや教室にある物の名前を英語で話したりしました。先生の名前は、アンナ先生でアメリカの大学から来たそうです。先生の授業は全部英語でしたが、わかりやすく、楽しく授業を受ける事が出来ました。また、アクティビティーでは遊びながら友達と英語で話し、英語を身に付けるようにしました。

8月15日は琉球村と海洋博記念公園に行きました。琉球村では、喜舎場理事長が昔の家の事などを英語で説明してくれて、色々な事が分かりました。昔の家の中は、あまり広くなくて、入口も今の家と比べると窓から入るようでびっくりしました。海洋博では自由時間があり、友達と水族館に行ったり、イルカショーを見たり、お店でおそろいの物を買ったりしました。

とても楽しい思い出ができました。また、これから一年間、学校や家で英語を身につけて来年参加したいです。

「ESLキャンプに参加して」

南城市立知念中学校 2年 荻野 なつれ

私は今回、ESLキャンプに参加して、今までよりも英語が好きになりました。そして少しだけ英語に自信ができました。

キャンプの初めは、ALTの先生方もうまく話すことができず、やっているのか不安でしたが、毎日英語で考える生活をしているうちに、だんだん先生方ともコミュニケーションがうまくとれるようになってきました。

授業ではわからないところも先生がたとえ話やジェスチャーを交えて、一人一人に優しくていねいに教えてくださり、とてもわかりやすかったです。

そして何よりも、最高の友達ができて、毎日笑って楽しく過ごせたことが、とてもうれしい思い出になりました。

そして今私は、中学校の英語の先生という将来の夢に向かって、このキャンプを通して学んだことを生かし、今よりももっと単語や文法等をしっかりと勉強して、これからも夢の実現に向けてがんばっていききたいと思えます。

ESLキャンプに協力してくれた両親、南城市教育委員会の皆さん、毎日熱心に教えてくれた先生方、本当にありがとうございました。

最後に、

I believe dreams come true.

日 課

| | |
|----------------------|-------------------|
| 06:30 | 起床 |
| 07:00~07:30 | 朝の体操 |
| 07:30~08:15 | 朝食 |
| 09:00~12:00 | ESL クラス 1 |
| (10:00と11:00に各10分休憩) | |
| 12:00~12:45 | 昼食 |
| 12:45~13:30 | 自由時間 |
| 14:00~17:00 | 屋外にてアクティビティー (活動) |
| 18:00~18:45 | 夕食 |
| 19:30~20:30 | ESL クラス 2 |
| 20:30~22:00 | 自由時間 (入浴、宿題) |
| 22:30 | 消灯 |